

シラバス

指定番号 _____
商号又は名称：公益社団法人 大阪市ひとり親家庭福祉連合会

科目番号・科目名	(10) 振り返り			
指導目標	<p>①在宅、施設の何れの場合であっても、「利用者の生活の拠点に共に居る」という意識を持って、その状態における模擬演習(身だしなみ、言葉遣い、対応の態度等の礼節を含む。)を行い、業務における基本的態度の視点を持って介護を行えるよう理解を促す。</p> <p>②研修を通じて学んだこと、今後継続して学ぶべきことを演習等で受講者自身に表出・言語化させたいうて、利用者の生活を支援する根拠に基づく介護の要点について再確認を促す。</p> <p>③修了後も継続的に学習することを前提に、介護職が身につけるべき知識や技術の体系を再掲するなどして、受講者一人ひとりが今後何を継続的に学習すべきかを理解できるよう促す。</p> <p>④介護職の仕事内容や働く現場の具体的なイメージが持てるよう促す。</p>			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 振り返り	2	2		(1) 振り返り ・学習到達度のチェック 演習実施 ・研修を通して学んだこと等テーマを決めたグループディスカッション
② 就業への備えと研修修了後における実例	2	2		(1) 質の向上と人材育成 ・介護人材の将来見通し・国の取組み・キャリアパスの全体像 (2) キャリア段位制度と介護技術評価 ・キャリア段位制度の仕組み・介護技術の評価基準 (3) 事業所等における実例に学ぶ ・事例講義
(合計時間数)	4	4		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。